

研究者紹介 **私の研究**

人類研究部

人類史研究グループ
しのだ けんいち**篠田 謙一** グループ長

『古代人の話す物語を聞く』

私たちは何者で、どこから来たのか?という問いに対しては、かつては哲学や宗教が答えを用意しましたが、現代では自然科学がその解決を目指しています。私たちの持つDNAには、人類進化の道筋が書き込まれているので、それを解読することによって私たち自身の由来を知ることができるのです。私は古代人のDNAを分析して、その人たちが何者なのかを知る研究をしています。彼らはどこから来たのか、現代に子孫を残していたのかなど、彼らのDNAに書き込まれた物語を読み解きます。

DNAの分析は博物館の研究室で行いますが、実際のサンプルを採取するための発掘調査に参加するところから研究がスタートします。人類学の研究は博物館の中に閉じこもってはいけません。古代人



の声を聞くためには、実際に彼らが住んでいた土地に赴き、その中に自分を置くことから始めなければならないのです。

**ベトナム北部 ManBac 遺跡での発掘**

私が発掘に参加したこの遺跡からは、約4千年前の数十体に及ぶ人骨が発見されました。

この2体は成人の女性と4歳くらいの子どもの、合葬された状態で発見されました。恐らく、はやりの病が何かで相次いで亡くなった親子なのでしょう。私たちは彼らの名前も知りませんが、彼らを埋葬した人々がその時に何を考えたのか、彼らの悲しみを想像することができます。時空を越えて、異なる文化に育った人々と感情を共有できるのは、私たちホモ・サピエンスという生物種がそれほど長い歴史をもっている訳ではなく、6万年ほど前にアフリカを出て世界に展開した一握りの集団の子孫だからです。このことを解明したのがDNA分析でした。

この遺跡の人々のDNA分析では、彼らがもともと東南アジアに居住していた集団と、中国の南部から進出した人の混血集団だったことを明らかにすることができました。

| 研究員に聞いてみました！**1) 専門は何ですか？**

古人骨に残るDNAを分析して、日本人の起源や世界各地の集団の成立過程を調べています。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

「遠くまで行きたい」と思ったことです。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

南米アンデスの古人骨のDNAを調査して、インカの人たちの起源をほぼ特定できたことです。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

いろいろなことに興味を持って下さい。

